

導入費用を抑えて今すぐ省エネ。

計測機器購入費用は、横浜市の補助が適用されます。

少ない費用負担で、今すぐ省エネ活動をはじめられます。

参加企業の業種は問いません、金沢区臨海部に所在する企業であればどなたでもご参加いただけます。

費用負担の例

計測機器購入費	120,000 円
設置費 (現場の状況により異なります)	約 30,000 円
省エネアドバイザー派遣制度の活用	0 円
△横浜市による導入補助金	△80,000 円
初期投資	約 70,000 円
月額費用 (通信費)	1,500 円

※システム運営管理費は、26～28年度まで横浜市が負担します。

※29年度以降は、ランニングコストをご負担いただきます。

※上記設備・工事は、見える化機器1台、計測点1点の場合の費用です。

金沢区臨海部 エネルギーマネジメント事業について

この事業は、金沢区臨海部の事業者の皆様へ電力の見える化機器を設置していただき、効果的な節電・省エネの推進体制を構築し、脱温暖化低炭素型モデル地域とすることを目指す取組です。

このシステムは、企業単体だけでなく、参加企業の電力使用量の合計をリアルタイムで見ることができます。参加企業全体を束ねる省エネシステム体系が確立されるよう、データを集約して効果的な節電・省エネの検証を行い、地域全体でCO₂排出量の削減に取り組んでいただける事業者の皆様を募集しています。

Yokohama Green Valley

横浜グリーンバレー構想では、低炭素な産業団地、地域での省エネ、CO₂排出量の削減を目指しています。

お問い合わせ

横浜市温暖化対策統括本部
プロジェクト推進課
横浜グリーンバレー担当
045-671-4109

システム運営管理
株式会社アカサカテック
045-774-3570



金沢区臨海部

エネルギーマネジメント事業

平成26～28年度横浜市事業



電気の使い方を工夫すると電気代を削減できる？

電気の使用状況が変わらなくても、電力会社によって電気代は変わる？

CO₂排出量の削減で地球温暖化対策に貢献できる？

Yokohama Green Valley